

# アタタと雪のじょうほう(情報)

## 雪が降るしくみ

(ポイント！室内で観察するとすべとけてしまうので、屋外で観察することをオススメします。)

ポイント！室内で観察するとすべとけてしまうので、屋外で観察

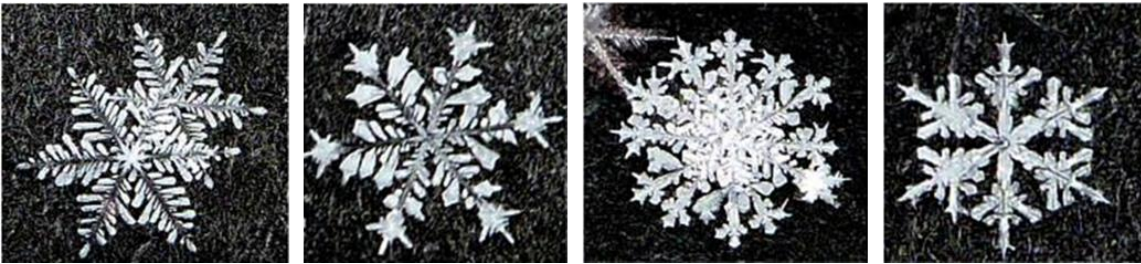
## 雨と雪は変身上手♪

みなさんは雪と雨の違いを思い浮かべますか？雪だるまを作ったり、スキーに出かけたりと、楽しいイメージを浮かべられるかもしれませんね。

雪はどのようにつくられるのでしょうか？雪は雨と同じように雲から降ってきます。この雲の中には小さな水の粒がふくまれています。この雲は、ほとんどが氷の粒でできていて、この氷の粒にまわりの水蒸気がくっついて、いろいろな形に変身した雪の結晶ができます。雲の中でできた雪は、地上の気温が高いと雨に変わりますが、地上の気温が0℃以下へぐらぐらと下りてくると地上まで落ちてきます。こうして地上でわたしたちが雪を見ることになるのです。

みなさんが住む福岡では、初雪の平年値は十一月十五日ごろで、今年より十日早いと十二月五日に初雪を観測しました。

※雪の結晶・・・上空と地上では、気温と湿度が違っているので、気温や湿度の変化で雪の結晶も形を変えます。雪が降ったら写真のような結晶が見られるかもしれません。顕微鏡で観察してみてください。



雪の結晶 第52次南極地域観測隊員撮影 (提供：国立極地研究所) 気象庁HPより



2017年	12月5日	火曜日
平成29年		
福岡管区气象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

## 「お天気Q&A」

Q:「あられ」と「ひょう」の違いは何ですか

A:「あられ」と「ひょう」はどちらも氷の固まりで、大きさによって呼び方が変わります。

直径がだいたい5ミリメートルまでの氷の粒を「あられ」、直径5ミリメートル以上を「ひょう」と呼んでいます。

「ひょう」は、ときにはテニスボールくらいの大きさで降ってくることもあって、車のガラスが割れたりすることがあります。

大きな「ひょう」が降っているときは丈夫な建物の中に逃げましょう。

## 雪が降ると楽しいだけじゃない!?どんな影響があるのかな?

雪が積もると道路が凍って車のスリップ事故が起きたり、歩いている人がすべってケガをすることがあります。福岡などの雪に慣れない地域では、雪が少し積もっただけでもこのような事故が増えます。

雪の多い地域では、積もった雪の重みで家やビニールハウスがぶれることがあります。

屋根の雪かきですべて落ちたり、屋根から落ちてきた雪に埋もれる事故もあります。

また、屋根の雪かきや道路の除雪作業には、毎年たくさんのお金と労力がかかっています。



- 注意** 雪(低温)の日に気をつけること
- 寒いからといって、ポケットに手を入れて歩くとすべって転んだとき大きなケガにつながります。雪が降るような寒い日には手袋をして、ポケットに手を入れないで歩きましょう。
  - 自転車はすべて転びやすいので乗らないようにしましょう。
  - 車がスリップするかもしれないので車道から離れて歩きましょう(とくに橋の上では注意!)

**気象台から発表される雪の情報「大雪に注意!？」**

雪が降るときは、気象台からいろいろなお知らせをしています。

災害が起こるような大雪を予想したときは大雪警報や大雪注意報を発表します。

また、大雪注意報を発表しなくても、みなさんの生活への影響が大きくなりそうなときは、雪に関する気象情報を発表することもあります。

**気象情報へのアクセス**

天気出現率

天気出現率 福岡

雨・雪が降っている場所は

ナウキャスト